

万引防止啓発マニュアル



全国万引犯罪防止機構

中学生・保護者向け 小冊子と壁新聞を配布

全国万引犯罪防止機構（万防機構・東京都千代田区、樋口建史理事長）は、万引防止啓発マニュアル（小冊子）「中1の保護者さまへ」「中1の保護者さまへ」119万部と、万引防止啓発を目的とした「壁新聞」3万部を作成し、全国の関係団体・中学校に配布した。小冊子は中学生の保護者に向けて、万引犯罪の実態や犯行防止対策、補導時の声掛け、相談窓口紹介などをわかりやすく説明している。2019年から作成を始め、今年で7年目となる。壁新聞は中学生に向けた内容で「罪を犯さないで」というメッセージを発信。クイズ形式で店内の行動が刑法犯罪になるかを伝えている。13年から作成し、今年で13年目となった。

小冊子・壁新聞ともに、日本宝くじ協会から社会貢献事業として認可され助成を受けて作成したもの。

万引犯罪が全刑法犯認知件数に占める割合は、13年の9・6%から24年には13・3%と増加。万防機構の会員である全国警備業協会では、同小冊子を協会機関誌「SECURITY TIME」8月号に挟み込み、加盟会員に配布した。

市川ビル・田平代表に 特別功労感謝状を贈呈

J E A S

日本万引防止システム協会（JEAS・稲本義範会長）は8月26日、市川ビル（千葉県市川市）・田平和精代表取締役特別功労感謝状を贈った。

市川ビルはビル管理会社として、商業施設やJR市川駅前などの安全安心に長年貢献してきた。特にテナント企業のロス削減に向けて、EAS（万引防止システム）ゲートや防犯カメラ、顔認証システムと保安警備業務との連携を推進し、不明ロスを大幅に減らした。

同社・長田泰文取締役は、9月19日のJEAS理事会で開く勉強会で講演し、自社の取り組みを紹介する。同25日のJEAS主催「第5回科学保安検定講習会」では「全館管理と防犯会議事例紹介」の講義を担当する予定だ。



左から長田取締役、田平代表取締役、稲本会長（JEAS提供）